

## 意見交換の概要

■開催日：令和元年10月16日（水）14：00～15：30

■会場：レインボープラザ 7階 71会議室

■参加者：100名

### Q. 質問・意見

東アジア文化都市の過去の開催都市は、開催後も継続し交流事業を継続しているのか。また、北九州市ではどのように考えているのか。

### A. 市長等の回答

これまでの実施都市へのヒアリングで、事業実施はもとより、実施後にどのようなレガシーをまちに残していくのが重要であるとの話を聞き、非常に大事なテーマであると認識している。  
本市としても、他都市の状況を勉強するとともに、北九州らしさを市民の皆様から色々と提案をいただきながら、レガシーとなるものをしっかりと残していきたいと考えている。

### Q. 質問・意見

スペースワールド跡地や、城野医療刑務所跡地の遺跡などはどうなるのか。

### A. 市長等の回答

スペースワールド跡地については、民間の開発計画が進んでいると聞いている。本市においては、桃園にある児童文化科学館の老朽化に伴い、スペースワールド跡地への移転を計画している。できるだけ早く跡地全体をオープンさせ、修学旅行生や海外の観光客が押し寄せ、その来訪者が市内を回遊するよう、議論を進めているところである。

城野医療刑務所跡地については、国により民間への売却を行ったが、弥生時代の重要な遺跡である「方形周溝墓」については、市が取得し、現在整備を行っているところであり、今後どのような形で残すか検討中である。

## 八幡東区

### Q. 質問・意見

2020年の開催都市である、本市、中国・揚州市、韓国・順天市にお互いの市民が行きかう市民交流を企画していただきたい。

### A. 市長等の回答

これまでの開催都市では、中国・韓国それぞれに50名ずつ、約100名の市民交流を行っていると聞いている。本市の交流事業については、開催都市や関係者等と協議し、企画しているところである。